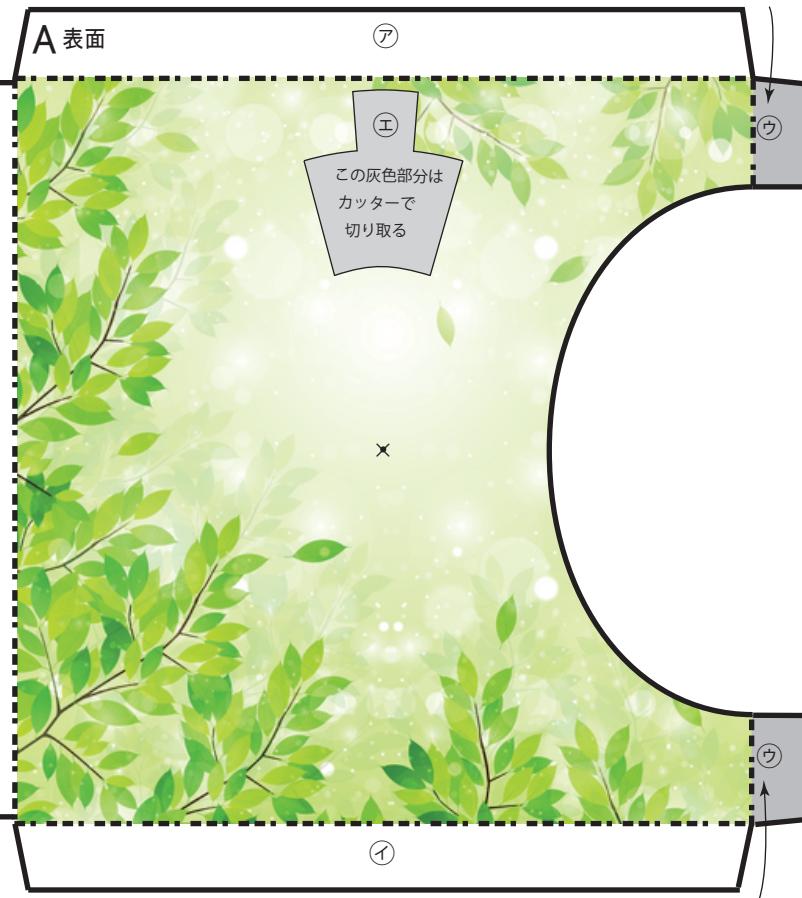
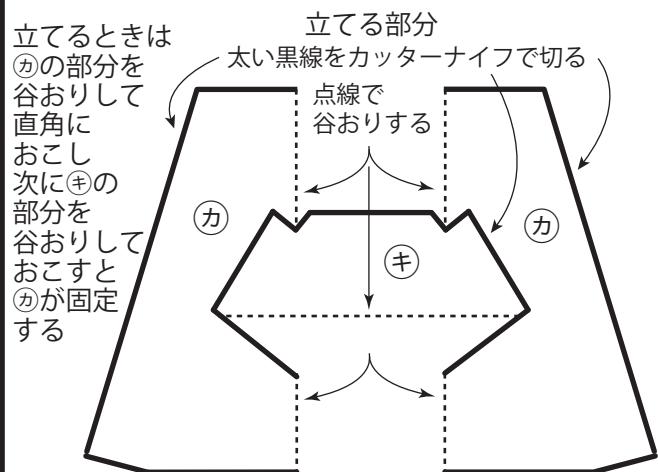
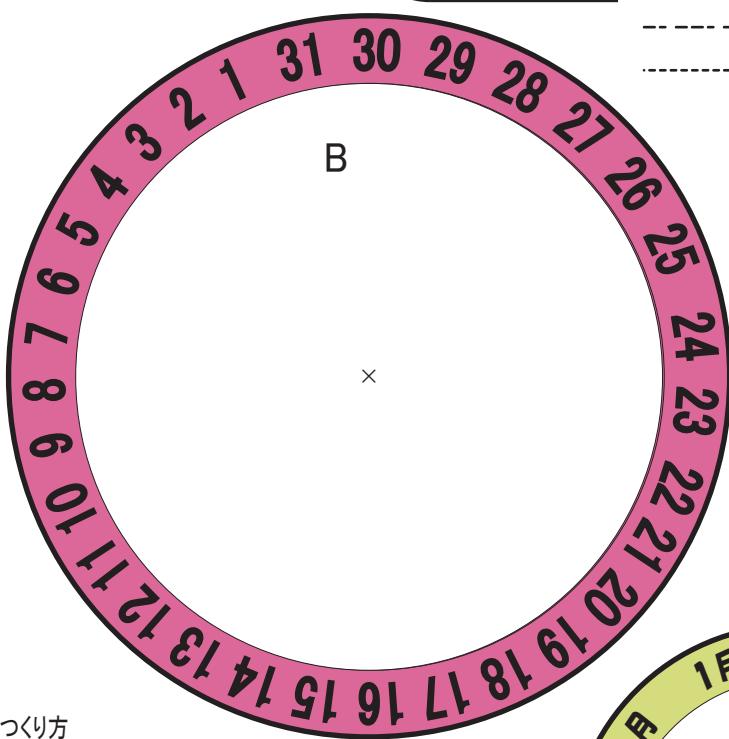


毎日1回まわすことで今日を大切にできます

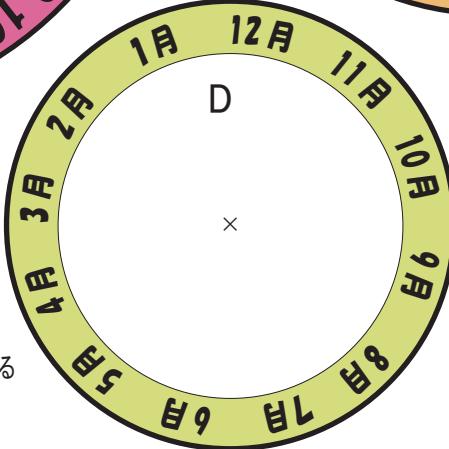
A 裏面



灰色部分は端まで使う
印刷すると用紙の
端まで線が印刷されないので
切るときに気をつけてね



----- 山あり
----- 谷あり



図①

図②

A表→B→C→D→A裏

わりピンがないとき
つまようじや竹串を軸に使う

家庭にある身近なものでつくれます。
薄いプラスチックや厚紙（薬を買った
時の錠剤のシート ストロー
紙箱 ダンボール ハガキなど）を
小さく切ったのを2つ作り穴をあける。
1つを図①のようにつまようじに通し、
カレンダー部品 A表→B→C→D→A裏の順に
をつまようじに通す。
最後に図②のようにならべて2つめの部品を
つまようじに通して、カレンダーが
回るようにする。
つまようじの余りを切りとる。

つくり方

- ①A B C Dを切り取る
- ②Aの灰色部分①をカッターで切り取る
- ③Aの立てる部分の太い黒線をカッターで切る
点線に折り目のすじをつける
- ④Aを半分におり、Aの表×から裏へ穴をあけておく
B C Dの×に穴をあけ A→D→C→B→Aの裏の順で
わりピンにさしていき、Aの裏でわりピンを広げる
- ⑤Aの表面の⑦と⑦の裏にのりをつけ山おりする
- ⑥Aの表の⑦の部分の裏にのりをつけ山おりしてAの裏につける
- ⑦立てる部分のおり線でおり広げて立つようにして完成